

映像コンテンツのご案内

▶ **プロローグ** (毎時 0分 20分 40分)

▶ **スーパーサラウンドシアター** (毎時 5分 25分 45分)

ミッキーマウス・マーチ	ローマの松	池の雨	ヤマハ・シンフォニック・ジャーニー
10:05	10:25	10:45	11:05
11:25	11:45	12:05	12:25
12:45	13:05	13:25	13:45
14:05	14:25	14:45	15:05
15:25	15:45	16:05	16:25

▶ **バーチャルステージ** (毎時 10分 30分 50分)

演奏内容は曜日ごとに変わります。
お楽しみに。

創業者 山葉寅楠



山葉寅楠

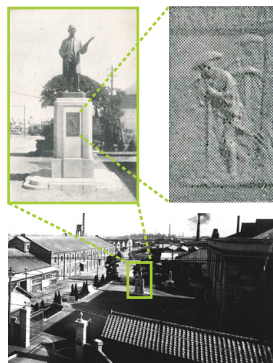
ヤマハブランドの商標「YAMAHA」は、洋楽器製造の先駆者である創業者・山葉寅楠の姓に由来します。紀州徳川藩士を父に持ち、幼い頃より西洋の科学技術に親しんでいた寅楠は大阪で当時普及の兆しを見せていた時計に目をつけ、時計づくりとともにビジネスを学びます。やがて医療機器の修理も手がけるようになり、浜松の病院を訪れるようになります。

その技術力をかわれて、浜松尋常小学校からオルガンの修理を依頼され、修理を成功させたことが、ヤマハブランド誕生の第一歩でした。ビジネスとしての可能性を確認し、修理中にオルガン内部を自身で模写して作った設計図で試作品を完成させました。当時の音楽取調掛(現・東京藝術大学)に持ち込むために天秤棒でかついで箱根の山を越えたと伝わる話が、レリーフとして残されています。このオルガンの調律を酷評されたため音楽の理論と調律を一から学び、悪戦苦闘を繰り返しながらついにオルガンを完成させました。音叉を片手に苦勞して調律を学んだ経験から、音叉マークの構想が浮かんだことが推測されます。

彼のビジネスとしての可能性を追求するベンチャー精神、時代を見抜く先見性、困難を克服する粘り強さ、目的を実現する熱意と強い意志。これこそがヤマハブランドの基盤です。

創業当時の志を伝える 「箱根越えのレリーフ」

旧本社構内にあった山葉寅楠翁銅像の台座に埋め込まれていたこのレリーフは、現在は館内に展示しています。



当時の本社屋の様子

ヤマハがわかる、厳選14スポット!

INNOVATION ROAD

音声ガイドおたすけMAP

30分コース

お急ぎの方に、110の音声ガイドから選び抜いた
14のスポットをご紹介します。
短時間でヤマハの魅力をしっかり体感いただけます。

1 電源を入れる

電源ボタンを長押しします。

2 音声ガイドを再生

「音声ガイド番号」が各展示に設置されています。ガイド機で「音声ガイド番号」を入力し、再生ボタンを押します。

※もう一度最初からお聞きになる場合は、再度「音声ガイド番号」を入力し、再生ボタンを押します。



音声ガイド番号

再生 / 一時停止

音量を下げる

音量を上げる

電源

画面点灯





イノベーションロードの概要

(1:16) ヤマハの過去と現在、そして未来への挑戦を、見て、聴いて、触れて、体感いただく場として、2018年7月にオープンしました



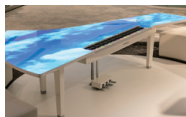
コンセプトステージ

(1:40) 美しい音と豊かな表現力を追求し、新たな楽しみ方を提案してきたヤマハのものづくりに対するフィロソフィーを表現した空間です



耳にも目にも心地よいピアノ:Key Between People

(0:39) 鍵盤をタッチすると映像がピアノの上に投影されます



ヤマハピアノの最高峰:フルコンサートグランドピアノCFX

(0:45) 著名なコンクールやトップアーティストの公演でも使用されるフラッグシップモデルのグランドピアノ



音楽の都ウィーンを代表するピアノブランド:ベーゼンドルファー

(1:24) 大屋根の内側にクリムトの絵が再現された、世界で25台限定生産の芸術作品です



ギター本体だけで、ホールで演奏しているような豊かな響きを体感!

(0:40) アンプを使用しなくても、ギターの生音にリバーブ、コーラス等のエフェクトをかけるトランスアコースティックギター



「ヤマハのオト」を体現する吹奏楽団:ヤマハ吹奏楽団

(1:07) 楽器開発・製造に携わる約60名のヤマハグループ従業員による「匠のバンド」の映像です



スーパーサラウンドシアター

上映作品・スケジュールについては裏面をご覧ください。

映像コンテンツをお楽しみいただけます

創業当時の志を伝える「箱根越えのレリーフ」

バーチャルステージ

上演スケジュールについては裏面をご覧ください。

入口

受付

プロローグ (約2分) 上演スケジュールについては裏面をご覧ください。



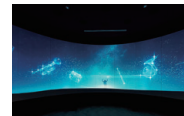
自動車の内装部品

(0:53) ヤマハの木材加工と塗装技術は、一部の国内外の高級車の内装パネルにも使われています



108.6chの迫力:スーパーサラウンドシアター

(0:28) 立体音響技術ViReal™(バイリアル)のシアターです。臨場感あふれる音と映像をお楽しみください



イノベーションロードマップ:4つの路線でヤマハの歴史を紹介

(0:56) ヤマハの挑戦やイノベーションの歴史を、楽器・エレクトロニクス・関連技術・サービスの視点で絵巻物風に紹介します



創業者・山葉寅楠とヤマハの創業物語

(3:09) 一台のオルガンの修理から始まったヤマハの歴史をご紹介します



エレクトーンの開発と半導体工場の設立:ヤマハを世界的なブランドに導いた決断

(1:22) エレクトーンの音をもっとよくするためには、まだ世の中に存在しない専用の半導体が必要でした



創業時に作られたリードオルガン:当初のブランドは「ヤマバ」(1887年)

(0:44) 創業当時は、YAMABA(ヤマバ)というブランドでした



バーチャルステージ:圧倒的な臨場感での仮想ライブをお楽しみください!

(1:25) ピアノの自動演奏と、ベース・ドラムそのものから音を鳴らす「トランスアコースティック技術」でライブさながらの臨場感が味わえます

